

平成 24 年 4 月 24 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

ジャパン・ホテル・リート投資法人

代表者名 執行役員

伊佐 幸夫

(コード番号:8985)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長 鈴木 博之

問合せ先 取締役管理本部長 平山 順一

TEL : 03-6422-0530

2012 年 3 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2012 年 3 月度におけるホテルの運営状況につき、月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。なお、イビス東京新宿につき、ホテル部分に係る現賃借人（星インベストメント合同会社）と運営管理業務の委託先（エイ・エイ・ピー・シー・ジャパン株式会社）との合意書の期限（当初期限：平成 24 年 4 月末日）は、両社間の合意により平成 24 年 7 月末日まで延長されました。かかる運営管理業務の委託の詳細は、平成 23 年 10 月 14 日付「新宿 NH ビルに係る賃貸借契約の対応状況について（その 2）」をご参照ください。

## 記

ホテル／項目		3 月度	対前年同月 増減(注7)	累計(注8)	対前年累計増減 (注9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	82.3%	7.6%	77.7%	-1.0%
	ADR (円)	13,142	-734	14,321	787
	RevPAR (円)	10,812	448	11,130	473
	売上高 (百万円)	508	64	3,275	16
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	98.8%	54.4%	97.5%	11.5%
	ADR (円)	20,142	5,986	16,467	624
	RevPAR (円)	19,906	13,614	16,057	2,424
	売上高 (百万円)	669	407	4,089	496
なんばオリエンタルホテル	稼働率	88.3%	2.2%	83.3%	1.1%
	ADR (円)	9,861	-889	9,820	-66
	RevPAR (円)	8,705	-552	8,182	50
	売上高 (百万円)	154	-9	1,055	-24
ホテル日航アリビラ	稼働率	77.7%	21.4%	73.9%	5.6%
	ADR (円)	20,698	-164	19,501	51
	RevPAR (円)	16,073	4,342	14,413	1,127
	売上高 (百万円)	416	114	2,577	263
オリエンタルホテル広島	稼働率	69.6%	8.9%	71.9%	5.7%
	ADR (円)	8,248	-535	8,186	-562
	RevPAR (円)	5,744	407	5,889	93
	売上高 (百万円)	188	18	1,239	70
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,935	594	12,234	820

ホテル／項目		3 月度	対前月増減 (注10)	累計(注8)	対前年累計増減 (注9)
イビス東京新宿(※)	稼働率	89.6%	4.7%		
	ADR (円)	8,976	-669		
	RevPAR (円)	8,041	-146		
	売上高 (百万円)	56	2		

※イビス東京新宿の売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。また、前賃借人から営業数値について開示の承諾を得られなかったため、前年同月増減、累計並びに前年累計増減はございません。

3 月度の実績に関するジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社（資産運用会社）からのコメント：

#### 神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、レジャー客を中心とした国内需要の取り込みにより稼働率が増加したため、売上は前年同月を上回りました。料飲部門では、一般宴会、婚礼宴会の件数が共に前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約64百万円上回りました。

#### オリエンタルホテル 東京ベイについて

昨年は東日本大震災（以下「震災」といいます）に伴い東京ディズニーリゾートが休園していたため、宿泊・料飲両部門の売上は前年同月を上回り、ホテルの総売上は前年同月を約407百万円上回りました。

#### なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、前年同月に発生した震災にともなう退避需要が剥落しており、価格訴求商品を中心とした集客となったため、ADRが前年同月を下回り、結果、売上は前年同月を下回りました。一方、テナント部門では、一部テナント賃料が減少したため、ホテルの総売上は前年同月を9百万円下回りました。

#### ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、昨年は震災による予約キャンセルが発生したこと、および本年はレジャー客の需要が回復したことにより、稼働率が前年同月を上回ったため、売上も前年同月を上回りました。料飲部門では、レストラン売上が宿泊稼働の上昇に伴い前年同月を上回り、婚礼売上も宴会件数の増加により前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約114百万円上回りました。

#### オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、集客チャネルの拡充によるレジャー客の需要を中心に集客を図ったことにより、稼働率が前年同月を上回ったため、売上は前年同月を上回りました。料飲部門では、一般宴会及び婚礼件数が前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 18 百万円上回りました。

#### イビス東京新宿について

宿泊部門では、外国人客が前月比で増加したことに加え、国内ネットエージェントとの新規契約等による集客チャネルの拡充を図った結果、稼働率が増加したため、売上は前月を上回りました。結果として、料飲売上等を含めたホテルの総売上高も前月を 2 百万円上回りました。

注 1) 上記のコメントは資産運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。

- 注 4) ADR :平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。なお、イビス東京新宿はサービス料はありません。
- 注 5) RevPAR :販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 6) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 8) 累計とは旧ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人の決算期間であった期首 (9月) から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 9) 対前年累計増減とは、旧ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人の決算期間であった期首 (9月) から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。
- 注 10) 対前月増減とは当該月と前月との増減を記載しています。

\* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.co.jp>